



## 2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年10月13日

上場会社名 株式会社システムインテグレータ 上場取引所 東  
コード番号 3826 URL <https://corporate.sint.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 引屋敷 智  
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 経営企画部長 (氏名) 岩井 智史 TEL 048 (600) 3880  
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年2月期第2四半期の業績（2023年3月1日～2023年8月31日）

#### （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	2,424	11.5	203	76.9	203	73.0	206	156.8
2023年2月期第2四半期	2,174	△11.7	115	△64.8	117	△64.2	80	△61.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	18.92	—
2023年2月期第2四半期	7.34	—

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	4,002	2,927	73.1
2023年2月期	3,780	2,869	75.9

（参考）自己資本 2024年2月期第2四半期 2,927百万円 2023年2月期 2,869百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2024年2月期	—	0.00	—	—	—
2024年2月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年2月期の業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	11.5	392	△3.6	398	△4.4	336	20.0	30.78

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期2Q	11,078,400株	2023年2月期	11,078,400株
② 期末自己株式数	2024年2月期2Q	160,681株	2023年2月期	160,681株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期2Q	10,917,719株	2023年2月期2Q	10,950,319株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(第2四半期累計期間) .....	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものです。

### (1) 経営成績に関する説明

当社は「時間を与えるソフトウェアを創り続ける」をミッションに掲げ、時代のニーズにあった自社プロダクト製品を用いて、時間という価値を提供しております。

当期は、中期経営計画「SDGs Mind 2021」の最終年度かつ「新2年経営計画」の1年目となります。「新2年経営計画」では「SDGs Mind 2021」で掲げた5つの重点施策を再構築し、新たに4つの重点施策を実施しております。IT業界においてはDX（デジタルトランスフォーメーション）推進を背景に追い風が吹いています。このような環境において、当社は常に最新技術を採用し、お客様のニーズに合ったサービス提供することで競争力を高めてまいりました。

当第2四半期累計期間の業績は、売上高2,424,244千円（前年同四半期比11.5%増）、売上総利益856,555千円（前年同四半期比16.9%増）、営業利益203,681千円（前年同四半期比76.9%増）、経常利益203,843千円（前年同四半期比73.0%増）、四半期純利益206,513千円（前年同四半期比156.8%増）となりました。当第2四半期累計期間は前事業年度から引き続き受注確度の高い案件及び受注残の確保に注力した結果、売上高及び各利益が向上しました。インボイス対応に関わる高採算の開発プロジェクトを獲得できたほか、採用計画の進捗の遅れが結果として人件費の抑制につながり、営業利益が大きく増加しております。また、投資有価証券売却益を特別利益に計上したため、四半期純利益も大きく増加しております。

事業セグメント別の業績の状況は次のとおりです。

なお、第1四半期会計期間から、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。また、前年同期の数値を変更後の事業セグメントの利益又は損失の算定方法により作成した数値で比較しております。詳細は「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) セグメント情報 II 当第2四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年8月31日) 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりです。

#### (Object Browser事業)

Object Browser事業は、「Object Browser」のライセンス売上が前年同四半期比16%強の増加、「OBPM Neo」のストック売上が前年同四半期比13%強の増加となった結果、当第2四半期累計期間の売上高は365,716千円（前年同四半期比6.2%増）、セグメント利益は173,403千円（前年同四半期比37.8%増）となりました。既存のお客様とのコミュニケーション強化、機能強化要望の早期対応による解約防止とアップセル、さらに新規のお客様の早期獲得により通期目標達成を目指してまいります。

#### (E-Commerce事業)

E-Commerce事業は、前事業年度から事業化した「Adobe Commerce」の開発プロジェクトが複数進捗しているものの、アフターコロナでオンライン販売に向いていた投資がリアル店舗販売に分散している状況もあり新規受注の獲得に苦戦いたしました。以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は428,399千円（前年同四半期比3.3%減）、セグメント利益は117,229千円（前年同四半期比13.5%減）となりました。ECプラットフォームの上位互換ニーズをターゲットにした「Adobe Commerce」の営業活動及び、「SI Web Shopping」を用いて外部マーケティング企業との協業により、内製化を見据えたデジタルシフトの支援体制強化を行い、案件数の増加及び受注率の向上を目指してまいります。

#### (ERP事業)

ERP事業は、新規のお客様からの引き合いは堅調に推移しており、当社提供ソリューションに適合する業種の新規案件受注活動に注力した結果、新規の受注状況は当事業年度期初に策定した受注計画に基づき推移いたしました。既存のお客様については、インボイス制度への対応プロジェクトが数多く進捗いたしました。以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,587,117千円（前年同四半期比17.9%増）、セグメント利益は343,664千円（前年同四半期比85.2%増）となりました。引き合い及び提案件数は増えているため、下期はインボイス制度対応案件に振り向けていた開発リソースを効率的に新規開発プロジェクトへ投下し、更なる成長を目指してまいります。

#### (AI事業)

AI事業は、当第2四半期累計期間に実施予定であった検証作業について、お客様の導入検討が想定より延伸していることから、当第2四半期累計期間の売上高は21,919千円（前年同四半期比17.5%増）、セグメント損失は19,442千円（前年同四半期は20,850千円のセグメント損失）となりました。外観検査のAIによる実現可能性を訴

求し目標達成に必要な十分な案件数を確保してまいります。

(インキュベーションその他)

インキュベーションその他には「TOPSIC」と「IDEA GARDEN」が含まれています。「TOPSIC」は、新規契約獲得数が順調に推移している一方、既存顧客の解約が数件発生いたしました。「IDEA GARDEN」は、「ChatGPT」を提供する「OpenAI社」のAI技術を積極的に採用し、イノベーション志向のお客様から引き合いをいただいております。以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は21,090千円（前年同四半期比5.8%減）、セグメント損失は35,631千円（前年同四半期は46,005千円のセグメント損失）となりました。引き続き、新規顧客開拓及びカスタマーサクセス体制の強化に取り組んでまいります。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ293,392千円増加し3,386,161千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加234,832千円、契約資産の増加80,872千円、その他流動資産の増加47,083千円、売掛金の減少83,404千円などによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ71,105千円減少し616,213千円となりました。これは主に、投資その他の資産の減少56,243千円などによるものです。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ222,286千円増加し4,002,374千円となりました。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べ164,358千円増加し1,075,185千円となりました。これは主に、契約負債の増加146,478千円などによるものです。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ57,928千円増加し2,927,189千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上206,513千円、配当金の支払い87,341千円、その他有価証券評価差額金の減少61,243千円などによるものです。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、2,199,060千円となりました。主な要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、313,178千円のプラス（前年同四半期は494,325千円のプラス）となりました。これは主に税引前四半期純利益289,779千円、売上債権及び契約資産の減少2,531千円、契約負債の増加146,478千円、減価償却費の計上87,772千円、賞与引当金の増加11,985千円などの資金増加要因が、投資有価証券売却益88,397千円、未払消費税等の減少28,834千円、法人税等の支払額87,883千円などの資金減少要因を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、8,680千円のプラス（前年同四半期は51,420千円のマイナス）となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入98,531千円、有形固定資産の取得による支出11,752千円、投資有価証券の取得による支出10,000千円、無形固定資産の取得による支出64,497千円、敷金及び保証金の差入による支出6,708千円、敷金及び保証金の回収による収入3,108千円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、87,027千円のマイナス（前年同四半期は168,195千円のマイナス）となりました。これは配当金の支払額87,027千円によるものです。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月14日発表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第2四半期会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,964,228	2,199,060
売掛金	562,880	479,476
契約資産	417,435	498,308
仕掛品	10,501	24,509
貯蔵品	16	16
その他	137,705	184,788
流動資産合計	3,092,768	3,386,161
固定資産		
有形固定資産	68,005	69,240
無形固定資産		
ソフトウェア	318,863	302,765
その他	170	170
無形固定資産合計	319,033	302,936
投資その他の資産	300,279	244,036
固定資産合計	687,319	616,213
資産合計	3,780,088	4,002,374
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	180,454	188,497
契約負債	318,702	465,181
未払法人税等	109,073	108,207
賞与引当金	145,467	157,452
受注損失引当金	—	1,433
その他	157,128	154,412
流動負債合計	910,826	1,075,185
負債合計	910,826	1,075,185
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	367,712	367,712
資本剰余金	357,712	357,712
利益剰余金	2,173,160	2,292,332
自己株式	△90,566	△90,566
株主資本合計	2,808,017	2,927,189
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	61,243	—
評価・換算差額等合計	61,243	—
純資産合計	2,869,261	2,927,189
負債純資産合計	3,780,088	4,002,374

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
売上高	2,174,086	2,424,244
売上原価	1,441,191	1,567,689
売上総利益	732,895	856,555
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	195,424	204,896
賞与引当金繰入額	50,530	54,995
業績連動報酬引当金繰入額	2,856	—
その他	368,927	392,981
販売費及び一般管理費合計	617,738	652,873
営業利益	115,156	203,681
営業外収益		
受取配当金	1,972	0
未払配当金除斥益	184	—
助成金収入	500	—
講演料等収入	50	140
その他	17	24
営業外収益合計	2,725	165
営業外費用		
為替差損	51	3
営業外費用合計	51	3
経常利益	117,830	203,843
特別利益		
投資有価証券売却益	—	88,397
特別利益合計	—	88,397
特別損失		
固定資産除却損	0	2,461
特別損失合計	0	2,461
税引前四半期純利益	117,830	289,779
法人税、住民税及び事業税	50,478	87,017
法人税等調整額	△13,061	△3,752
法人税等合計	37,417	83,265
四半期純利益	80,412	206,513

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	117,830	289,779
減価償却費	106,176	87,772
賞与引当金の増減額 (△は減少)	47	11,985
業績連動報酬引当金の増減額(△は減少)	2,856	—
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	16,524	1,433
受取利息及び受取配当金	△1,976	△4
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△88,397
固定資産除却損	0	2,461
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	247,948	2,531
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,538	△14,008
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29,064	8,042
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△33,058	△28,834
契約負債の増減額 (△は減少)	85,828	146,478
その他	9,561	△18,182
小計	521,134	401,057
利息及び配当金の受取額	1,976	4
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△28,785	△87,883
営業活動によるキャッシュ・フロー	494,325	313,178
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△14,172	△11,752
投資有価証券の取得による支出	—	△10,000
投資有価証券の売却による収入	—	98,531
無形固定資産の取得による支出	△28,269	△64,497
敷金及び保証金の差入による支出	△9,997	△6,708
敷金及び保証金の回収による収入	1,019	3,108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,420	8,680
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△47,749	—
配当金の支払額	△120,445	△87,027
財務活動によるキャッシュ・フロー	△168,195	△87,027
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	274,709	234,832
現金及び現金同等物の期首残高	1,631,290	1,964,228
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,906,000	2,199,060



(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間 (自2022年3月1日 至2022年8月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	Object Browser 事業	E-Commerce 事業	ERP事業	AI事業	計				
売上高									
一時点で移転される財又はサービス	119,496	127,167	249,064	17,036	512,764	—	512,764	—	512,764
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	224,856	315,771	1,096,675	1,625	1,638,927	22,394	1,661,322	—	1,661,322
外部顧客への売上高	344,352	442,938	1,345,739	18,661	2,151,691	22,394	2,174,086	—	2,174,086
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	344,352	442,938	1,345,739	18,661	2,151,691	22,394	2,174,086	—	2,174,086
セグメント利益又は損失 (△)	125,838	135,536	185,596	△20,850	426,122	△46,005	380,117	△264,960	115,156

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに該当しない新規事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△264,960千円は、事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	Object Browser 事業	E-Commerce 事業	ERP事業	AI事業	計				
売上高									
一時点で移転される財又はサービス	133,595	284,124	323,814	8,881	750,415	—	750,415	—	750,415
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	232,121	144,275	1,263,303	13,038	1,652,737	21,090	1,673,828	—	1,673,828
外部顧客への売上高	365,716	428,399	1,587,117	21,919	2,403,153	21,090	2,424,244	—	2,424,244
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	365,716	428,399	1,587,117	21,919	2,403,153	21,090	2,424,244	—	2,424,244
セグメント利益又は損失 (△)	173,403	117,229	343,664	△19,442	614,855	△35,631	579,224	△375,542	203,681

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに該当しない新規事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△375,542千円は、事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、事業セグメントごとの経営成績をより適切に把握するため、第1四半期会計期間より、各事業セグメントに帰属しない一般管理費の配賦を行わず、セグメント利益又は損失の調整額に全社費用として計上する方法に変更しております。

なお、前第2四半期累計期間のセグメント情報は、変更後の事業セグメントの利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。